

抄了十時上る部々同労働賃ノ支給は名根地堂に
見し如く之に裁金七流十下ノ押之戸三引作帳日部
附ノ編成者老々ノ一務ノ行を暗く、静南ノ有る控
千支過ノ電事道ノ流ニ南ノ四ノ道ノりノ東ノ田山ノ
園三ノ流ノ支アリ可亭下、取勤地田山分園三ノり若西
陣使者有得之儀、本氏ニ其外ニ其儀ノ核ヲ行リ
カ事也其ノ労働賃ノ支ル部々印代表大會等ノ確ノ端等
出納し互々下見之ノ中止ノ節々之ノ有給金を之に之
一時控束下トし附し志、取勤直前ノ礼ノ他ノ煽動せし
若手是一ノ控束下トし附し之ノ外、核外ノ支所ノ心々
ノ取勤已之儀ト記勤云々

東京運輸労働出元

各カ事原

三〇

京都同労働出元

京都木材労働出元

西陣便業労働出元

皮革工業出元

信田農事労働出元

取勤労働出元

金丸支子労働出元京都支印

全農系初村駐宅出元

京都陶磁器出元

云々（長流）

一労働出元新地出元

二言論禁令持込新地出元

三新地振興等事控新地振興出元

一八

一九

二七

二

一

五

三

八

二